



問 家畜の飼料として麦や大豆、或は藁等を与えるとき煮てやるのがよいのでしょうか。

(真庭 家畜一生)

答 家畜の飼料給与方法は、家畜の種類又飼料の種類によりまして違っておりますが、其の前に大体の飼料給与方法の考え方を述べてみよう。

第一に家畜は本来の姿から申しますと、原理において野草、木の実、川の水等、其の他、自然界の食糧となるものを食べて来ました。其れが人に飼育されるようになり、現在では栄養の計算された飼料配合がされるようになってきました。本来の姿から考えた普通の場合には飼料は煮てやる必要がありません。煮てやることにより、栄養分のビタミンのように煮ることにより

分解しても栄養分が増加することがなく、煮る労働力と時間と燃料費が無駄になるのです。水も同様湯にして与えることはありません。煮てやるということは特別の不消化飼料の消化作用を助ける為とか、或は濃厚飼料と藁とか其の他の飼料と混ぜて煮ることにより家畜の嗜好性を増加さし、余り嗜好に適しない飼料もこの方法によって給与出来る場合とか、特別の場合です。水の場合に於ても同様であります。

以上のように特別の場合を除き煮る必要がなく、亦家畜も其れだけの消化能力をもっているのです。飼育管理には習慣という事が無意識のうちよかれ、悪しかれ、行われているのです。恐ろしきは習慣です。

(畜産課)